

第10回 川越市総合計画審議会 議事要旨

- 1 開催日時** 令和7年10月16日（木）午後2時から午後2時40分
- 2 開催場所** 川越市役所 7AB会議室
- 3 出席者** 横田等（会長）、眞下英二（副会長）、神田賢志、池浜あけみ、栗原瑞治、
（委員） 吉野郁恵、小ノ澤哲也、石橋裕、新井康夫、崎幸子、石川真、焦雁、高橋健治、
岡村淳子、山口陽子、牛久保努、福田智江子、松本隆、櫻井晶夫、飯島大輔、
*敬称略 佐藤光
- 4 欠席者** 山木綾子、筑井麻紀子、及川康、西川亮、増田俊和、岡野一明、関口俊一、
（委員） 山岡俊彦、福木孝
*敬称略

5 会議の概要

1 開会

2 会長挨拶

第五次総合計画の策定について、これまで9回にわたって御審議いただいたが、本日が最終回である。今回は、意見公募手続の結果について皆様から御意見をいただいた後、本審議会としての答申案をまとめたい。これまでの御協力に感謝申し上げますとともに、最後までお力添えをお願いしたい。

3 議事（ ◎会長 ○委員 ・事務局 ）

（1）意見公募手続の結果について

～ 資料1-1、1-2に基づき説明 ～

- 資料1-1で、「分野別の方向性」に対して「10行程度の説明しかなく、これからの10年をどうしていきたいのか、みえてきません」との御意見があった。2つの方向性を1ページの中に記載する、又は、それぞれのページの余白に写真やイラストを挿入した方が見栄えがするのではないかと。余白が多いと内容のボリュームが薄い印象を受けるので、何か考えた方がよい。
- ・写真等については、今後、冊子を作成する段階で追加する予定である。
 - ・「分野別の方向性」の記述は、これまで庁内で表現等を検討してきたところである。「分野別の方向性」を含む基本構想は、12月議会の議案として上程するので、その前に再度、内容を精査したい。

（2）答申案について

～ 事務局から資料2-1、資料2-2を配布 ～

- ◎これまで審議会で精査してきた「第五次川越市総合計画（案）」については、皆様から頂戴した御意見を極力反映させることができたことから、内容はおおむね妥当であると判断した。答

申では、今後、計画を推進するに当たって、市に留意してほしい事項を審議会の総意としてお示ししたいと考えている。

◎資料２－１の答申案に記載した９項目は、これまで審議会で皆様から頂戴した御意見を踏まえ、私と副会長とで取りまとめたものである。内容について、皆様から御意見をいただきたい。

○答申案の中に、こども・若者、外国籍市民という文言があるのは良いが、高齢者や障害者に対する言及がない。例えば８項目の「若者等」のところで、高齢者や障害者を追加することはできないか。

・８項目の「若者等」には、若者だけでなく、高齢者や障害のある方を含んでいる。会長、副会長の御判断になるが、表現を工夫することはできると考える。

◎御指摘のあった事項については、我々にお任せいただいきたいと思うが、基本的にはこの内容で市長に答申したいと思うがよろしいか。

(一同了承)

(３) その他

○「第四次川越市総合計画」では、専門的な用語やデータ等に注釈が付いていたが、「第五次川越市総合計画（案）」についても、１２月議会の議案にする前に、注釈等を整理するという認識でよいのか。

・改めて内容を精査し、必要なものに対して注釈を加えていきたい。

・資料１－２「第五次川越市総合計画（案）」の８９ページの「基幹的バス路線」など、一部には注釈を設けている。注釈に不足がないかも含め、今後、精度を高めていきたい。

○自分にとって、１０年後の川越市について考える良いきっかけとなった。その上で、次世代の小中学生が、川越市が抱えている課題をもっと知った方が良いと思った。世界を見ることも大事だが、自分の住んでいる地域を知ること、こどもたちが自分事として地域について考えるようになるのではないか。

・現在、小学３年生から中学３年生までを対象に、ふるさとについて学ぶ時間を設けている。川越市の歴史や文化を学ぶのに加えて、地域の人たちとの協働による体験学習や、市の施策や取組を学ぶ機会を設けており、今後さらに充実させていきたい。

これらの取組を通じて、こどもたちが川越に対する誇りや愛着を持つとともに、地域の課題を把握することで、将来、自らが川越を担う立場になった時にどのように活躍していくかという意識を持ってもらえるよう、力を入れていくので期待していただきたい。

・１１月１２日（水）に審議회를代表し、横田会長と眞下副会長が市長へ答申を行う。また、基本構想を１２月議会の議案として上程する。最終的な計画冊子の完成は、来年３月頃を予定しており、出来上がり次第、皆様に郵送させていただく。

４ 閉 会